



2025 年7月

栃木県テニス協会 理事長 吉井正光

TTA レポート(No.135)

2025 年になってから暫く休止していましたが、再開します。

2025 年度の大会がスタートしました。

全日本テニス選手権栃木県予選では真中翔楊選手と関口彩花選手が優勝しました。全日本テニス選手権予選会での健闘を祈ります。

国スポ県予選では成年の部男子では海野優輝選手と真中翔楊選手が昨年に引き続き代表を決めました。女子では森崎可南子選手が連続、三浦菜々心選手が初の代表となりました。少年の部男子では伏見一輝選手と江原叶碧選手が、女子では神田瑞稀選手と木村莉菜選手が代表となりました。

ねんりんピック栃木県予選では砺波哲也選手、縫田邦彦選手、佐藤千恵子選手、滝川君代選手、川又俊郎選手、佐藤博選手が代表となりました。

栃木県の代表となった選手に応援をよろしくお願いします。

今年も関東オープンのベテラン大会を主管開催しました。年齢種別は男子 80 歳以下、85 歳以下、女子 60 歳以下、65 歳以下、80 歳以下、85 歳以下の種別が行われました。当地が最高年齢の種別となったわけですが、皆さんの年齢を感じさせないプレイには唯々感動です。

このようにしてベテランの大会はどの種別でも活況を呈していますが、若年層のテニス離れが目立ちます。これを少子化だけの理由で片付けて良いのでしょうか。テニスというスポーツの魅力を伝えきれていないのではないだろうか。という視点を持って大会を見直す時期に来ているのではないか。反省と課題です。

「生涯スポーツ」という言葉を耳にします。スポーツが健康寿命を伸ばすことにつながる手段の一つとして語られる一方、スポーツをする価値という点においてはスポーツを通じて多くの人と触れ合うことで得られる喜びや結果としての達成感が、自身の幸福度を向上させることにつながるのではないかと考えています。

私たちがすべての人にそれを与えることはできませんが、何か一つでもそのお役に立てたなら嬉しい限りです。

